

3 学年社会科学学習指導案

指導者 登米中学校 講師 遠藤 孝

1 単元名 第4章わたしたちの暮らしと経済 4節「国民生活と福祉」

2 単元目標

・国や地方公共団体の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。 **【社会的事象への関心・意欲・態度】**

・国や地方公共団体が果たしている役割や財政の役割について、国や地方公共団体の経済活動に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 **【社会的な思考・判断・表現】**

・国や地方公共団体の経済活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめる。 **【資料活用の技能】**

・社会資本の整備、公害の防止や環境の保全、社会保障の充実、租税の種類と意義、役割及び国民の納税の義務について、理解しその知識を身に付けている。 **【社会的事象についての知識・理解】**

3 指導計画（7時間扱い）

学習時間	題材名
第1時	政府の経済活動と租税
第2時	政府の役割
第3時	社会保障のしくみ
第4時	少子高齢化と財政（本時）
第5時	公害の防止と環境の保全
第6時	世界の中の日本経済
第7時	経済プレゼンテーション

4 本時の指導

(1) 題材名 少子高齢化と財政

(2) ねらい

・消費税増税の理由を理解し、自分の言葉で説明することができる。 **【思考・判断・表現】**

・消費税増税から、将来の社会保障の在り方や税の在り方について意欲的に考える。

【関心・意欲・態度】

(3) 準備物

生徒：教科書・ノート・資料集，「私たちの暮らしと税」

教師：教科書・資料集・PC・プロジェクター

(4) 評価

① 消費税増税の理由を理解し，自分の言葉で説明することができたか。 【思考・判断・表現】

② 消費税増税から，将来の社会保障の在り方や税の在り方について意欲的に考えているか。

【関心・意欲・態度】

(5) 学習過程

段階	学習内容と活動 ・予想される生徒の反応	形態	教師の支援 ★校内研究テーマとの関連	留意点	評価の観点 (方法)
導入 10分	1 前時までの内容を確認する。 ・税の種類，社会保障について思い出す。	一斉	・「登米っ子」課題の確認。 ・デジタル教科書の提示。	・テンポ良く時間を掛けすぎない。	
展開 30分	2 学習課題を把握する。 課題：「消費税増税は，何のために？」 3 消費税増税について，自分の意見をまとめる。 ○税金が高いと，生活が苦しくなるから反対。 ○国にお金がないからしょうがない。 4 日本の財政上の問題や税の役割を知る。 ①財政状況に関わる資料 ②社会保障制度改革に関わる資料 ③消費税は景気に変動されず，安定した税収入である資料 5 消費税増税の目的について，自分の意見を説明する。 ○数名に指名し，発表する。 6 少子高齢化社会における社会保障	一斉 個別 一斉 個別 個別	・資料「新聞の号外」を配付する。 ・課題をしっかりと把握させる。 ・自分の考えをしっかりとまとめることができる。 ・なぜ，国にお金がないのかという，素朴な疑問から，次の展開を心掛けたい。 ・財務省のHPから，ポイントを絞って現在の日本の社会が抱える状況を把握させる。 ・資料集，『私たちの暮らしと税』を確認する。 ・キーワードを用いて自分の言葉でまとめる事ができるよう支援する。 ・主権者となったときに避けられ	・キーワードとなる言葉に気づかせたい。 ・午前中の病院の混雑や年金未納問題など，生活経験や既習知識と関連させて展開する。	【思】消費税増税の理由を理解し，自分の言葉で説明することができたか。(観察)

	<p>の在り方とそれを支える税の在り方を考える。</p> <p>〔志教育の視点〕 自分たちが関わる日本の将来について、懸命に考えようとしているか。(かかわる)</p>	<p>ない社会問題であることを補足する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スウェーデンやアメリカの特徴的なメリット,デメリットを簡潔に説明し,判断の材料とさせたい。 		<p>【関】消費税増税から,将来の社会保障の在り方や税の在り方について意欲的に考えているか。(発表)</p>
<p>終 結 10 分</p>	<p>7 学習したことを振り返り,課題について自分の言葉で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の政治の動向にも注目するよう促す。 ・次時の登米っ子課題を提示する。 		

4 少子化高齢化と財政

今日の課題：消費税増税は、何のために!?

私は、消費税増税に 賛成 ・ 反対 です。なぜなら、

○高齢者（65歳以上）が増加 → 社会保障費（医療費や年金給付額）が増加。
現役世代（15～64歳）＝労働力人口が減少→ 保険料 ・ 税収 が減少。



そこで、様々な取り組みが...

- ・ 国民健康保険と国民年金が統合
- ・ 介護保険制度：40歳以上が加入。介護サービスを受けられる。
- ・ 後期高齢者医療制度：75歳以上が加入。国民健康保険，健康保険から切り離す。

※それでも、現在の日本は財政難（国債赤字が1,000兆円を超えている!!）
安定した財源が必要 → 消費税（景気の変動にあまり左右されない）

つまり、消費税増税の目的は、

ちなみに、外国との比較をすると...

<p>ヨーロッパ型〈高福祉高負担〉</p> <ul style="list-style-type: none">・無差別平等の実現。・高い消費税率（※物によって違う）・教育，医療，失業などは，原則無料。	<p>日本</p> <p>ほぼ中間？</p>	<p>アメリカ型〈低福祉低負担〉</p> <ul style="list-style-type: none">・税率は低い。・医療や年金は，個人の責任（民間）
---	------------------------	--

☆これから、日本はどうすべきだと思いますか？